**チャリティーコンサート 　平和への祈り**

**東京オペラ協会**

N：皆様、こんばんは！

今日のチャリティーコンサートは、私たちから皆様にお贈りするだけのコンサートではなく皆様の今のお気持ちとともに、ご一緒に作っていければと願っております。

振り返ってみますと、人類の歴史は争いの歴史でもありましたし、平穏な時代はそれ程おおくはなかったかもしれません。でも今ウクライナで起こっていることは、私たちを暗澹たる気持ちにさせます。いったい地球は誰のものでしょう？

今日は、希望の光が見えるようなコンサートでありたいと、オペラプラザグループ全国各地のメンバーも参加して東京オペラ協会のオリジナルオペラやオリジナルソングを中心に平和への祈りを歌で構成してみました。

**N：第一部はまず今日の出演者から、ご自分の想いを語って頂きながら、今一番紹介したい曲を演奏していただきます。約5名ぐらいで30分**

**まず、～～様どうぞ。**

**続いて、～～様どうぞ。（以下同様に）**

N：では次に、モーツァルトのオペラ魔笛とフィガロの結婚からお聞きください。当会独自の解釈で訳詩を付け公演しております。両方のオペラで計**13分**

魔笛からのメッセージ（それぞれの曲の前にオペラの流れを解説）

♪フム，フム、フム（この笛はわれらの宝よ）（3分）

♪魔法の鈴　　　　（こんな宝がこの世に有れば、敵も味方も幸せになる）（3分）

*参加者は世界中の民族衣装で出てくる。（アナテフカ→ユダヤ人、ギリシア正教の司祭、ロシア人、少年→仏僧、忍室、ローマ法王、女の着物姿、魔笛→動物、他個人の持ち物）*

♪そっとそっと～聖なる勝利の前まで（白と黒衣装に分かれ敵、味方をはっきり出す。）（2分）

フィガロの結婚からのメッセージ

♪許しましょう（白の衣装を着た人が黒の衣装を着た人を優しく立ち上がらせる）（5分）

誰もが誰もの～先ほどの民族衣装を着た人も出てきて最後のフィナーレを全員で歌う。

**休憩**

N：第二部はエドワードの曲を中心にお届けします。**歌の長さは40分**

♪１**こんなに空が（ピアノのみFdur）その間に下の台詞が読まれる。（4分）**

**彼は海が好きで一人でよく泳ぎに行く　　そこで彼はいつも新たに思う**

**「こんなに大きい世界に見守られながら僕たちは生きているんだ」と**

♪２こんなに空が（バリトンソロ）ピアノ：①のコードのみをアルペジオで

（ディナーミック、アゴーキックは歌を聞きながら）

３いつもそうだった　　淋しさに耐えられなくなると　彼は自然の中に入っていく

すると　彼をそっと支えてくれている自然の声が　どこからともなく優しく　響いてくる

　　♪こんなに空が（女声2部）ピアノ：①のコードのみアルペジオで

♪どうして空が～こんなに空が、まで続く

N:美しい地球、私たちのそばには美しい自然がいっぱいあります。

♪星たちの歌（4分）

N：そんな自然の中で子どもたちが輝いているそんな地球を取り戻しましょう！

♪子供たち（3分）

N: 次の2曲は島筒英雄さんの曲からお聞きください。

誕生以来４６億年をかけて、やっと生命体が安心して住めるように整えてもらった広大な宇宙の中の美しい水の星、地球！無言の許しの下、ここに生死の間の暫くを美しく麗しく心安らかに住まわせてもらっている。ここは地球の領土、宇宙の領土。私たち人間はただただ生かしていただいているだけなのです。

他国に侵入し侵害して地球を破壊する権利は誰も持ちません。

私たちはいつから謙虚さを失ってしまったのでしょうか。

♪地球（3分）

♪みんなを好きに（2分）

N:みんなを好きになることは難しいけど、好きになってみよう！この努力が大事なんでしょうね。そういえば自然農法の提唱者である福岡正信さんはこんなことを言っていますよ。

♪イロハ革命歌（2分）

N：まさにロシアの作家トルストイの「イワンのバカ」のお話と同じですね。無欲で働いていれば争いもなく楽しく暮らせるというお話だったと思いますが。

さてもう一曲、正信さんからのメッセージが詰まった曲です。

♪正信ちゃんに捧げるラブソング（2分）

N：楽しい曲が続きましたが、次は当会のオリジナルオペラから平和へのメッセージを見つけ出してみましょう。

まず1990年に初演されました「忘れられた少年」から。

以下は短くする予定。

これは天正遣欧使節としてヨーロッパへ旅立った、（今でいう海外留学生ですね。）4人の少年たちの物語です。

400年も前の時代ですので、もちろん飛行機はありません。帆船で風の力を借りてローマへ行ったのですが、いまは12時間近くで行けるヨーロッパへ2年と半年の年月をかけての旅でした。船酔いや疫病にかかったりしながらの苦しい旅を終え、ヨーロッパの文明の数々を持ち帰った時はすでに8年余りが過ぎ去り、１２，３歳だった彼らはみんな大人となり、お迎えの家族にも顔が分からないほど成長していたそうです。又、時は信長から秀吉の時代へと移り、日本では禁教令が布かれていたため、彼らは苦境へと追いやられます。

そんな中で、伊東マンショは、病気を押して布教活動に打ち込んだため、43歳の若さで亡くなりました。原マルチノは色々な分野で活躍し、有名になってしまった為マカオに追放されてしまいました。

千々石ミゲルは、思い悩んだ末、キリスト教の教えは日本人を苦しめるだけだと棄教の道を

選びます。最後に残った中浦ジュリアンは日本にいるキリシタンの為に隠れて日本中を布教して回り、最後に小倉で捕まります。そして長崎に移送され西坂の丘で処刑されてしまいます。

4人は４様の道を歩きますが、それでもそれぞれの道で懸命に輝いていたことでしょう。

そんな彼らを時ゆく者が優しく慰める場面「ながい旅を終え」から、最後の「陽は昇り陽は沈む」までをお聞きください。

♪ながい旅を終え、（10分）

♪忘れられた少年よ

♪陽は昇り陽は沈む

N：次は「高山右近」のオペラより　　高山右近をキリストの教えに導いた盲目の伝道師ロレンソが、その右近に説法する場面です。「剣をとるものは皆剣で滅びる」という言葉はとても印象的です。

♪剣を取るものは（２分）

♪色も香も（2分）

N：久々にエドワードの新作音楽劇「寝獅子浜の不知火」が出来上がりました。初演は今年7月3日に根獅子浜があります。長崎は平戸で行われます。

禁教令の中、根獅子浜に住む村長たちは、松浦の殿様からの密偵である弥兵衛に、自分たちが隠れキリシタンという事を暴かれてしまいます。しかし弥兵衛はこの浜の住民の中で私たちだけがキリシタンであって、他の住民は関係ないと言い張り家族6人のみが処刑を受けました。そのお陰で他の住民は処刑を免れたというお話です。これは、その時代から今まで口頭で代々伝わったお話ですが、根獅子浜の人々は今でもお六人様に感謝の念を忘れず生活をしているという事です。

その中からテーマ曲であります「根獅子の不知火」を祈りを込めて歌います。

♪寝獅子浜の不知火2分

アンコール

こんなに空が2分